

お手軽に

パソコン作曲

始めよう



パソコン作曲とは？

今日作曲は、楽器を鳴らして紙に楽譜を書いて……といった作業に代わって、パソコンソフト1つで行うのが主流になっています。

そうしたソフトにより、作曲をしたことがない人でも気軽に作曲を体験できるようになりました。例えば、自分が鼻歌交じりに歌うフレーズを鳴らしたり、お気に入りの曲のサビのメロディを真似してみたりするなど、本人の意欲次第で、作曲の楽しみ方は無限にあります。

ピアノやギターなどの楽器演奏による作曲もいいのですが、パソコン作曲を勧める理由として以下の利点が挙げられます。

- ♪ さまざまな楽器の音が扱える
- ♪ 無料の作曲ソフトで気軽に始められる
- ♪ 慣れれば打ち込む作業が楽しくなる

この記事では、中学で習った音楽の知識程度ですぐに始められるパソコン作曲を紹介します。作曲をしたことがない人にも、作曲の楽しさに触れてもらえれば幸いです。(kaeru)

コラム1 楽器について

この記事の作曲はパソコンだけでも可能ですが、手元に鳴らせる楽器があった方がよりメロディを作りやすくなります。

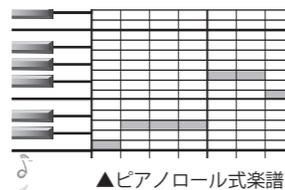
手ごろな価格でさまざまな楽器音が出せるキーボード（電子鍵盤）がお勧めです。



1 から始める作曲法

興味がわいてきた人は、早速右側のコラムで紹介している無料の作曲用ソフトをダウンロードして、実際に作曲を行ってみましょう。わからないところはマニュアルを参照しながら、下に書いてあることを試してみてください。

① とりあえず作曲ソフトを起動しましょう。右図のような楽譜が表示されます。



▲ピアノロール式楽譜

② 好きな楽器を選んで楽譜をクリックし、音符（バー）を並べます。作ったメロディを再生して音楽を耳に入れましょう。

③ ②を繰り返した後に浮かび上がった、表現したいワンフレーズを、そのまま続けて楽譜に打ちこみましょう。

コラム2 作曲用ソフトについて

曲の楽譜を書き出し、その譜面通りに音楽を再生させるソフトです。

無料の作曲用ソフトの中でも、ピアノロール式*の楽譜で作曲するものが使いやすいでしょう。以下がお勧めの無料作曲ソフトです。

「ミノ式MIDIシーケンサ」

シンプルな形。初心者にもわかりやすい。

URL <http://www.minopon.com/>

「Domino」

多機能、無料ソフトの中では高性能。ただ、初めのうちはマニュアルを読む必要あり。

URL <http://www.tkb-soft.hmcbest.com/>

*一般によく見られる五線譜の楽譜をアレンジした形式で、音階がピアノの鍵盤と対応しています。音符の長さや、音の鳴るタイミングがバーで表示され、視覚的によくわかるようになっています。

これで作曲の足がかりとなるメロディのワンフレーズができました。この後は、いろいろな音色を重ねていきましょう。

一般的な曲の簡単な骨組みと、その作り方を右ページで紹介いたします。

(工・院 モリリン・モンロー)
(とりあえず急いで載せましたが；編)



本格的に作曲しよう！

メロディはできたけど、次は何の楽器を打ち込めばいいのやら……と迷ってしまったら、作ったメロディにドラム（パーカッション）、ベースの2パートを重ねることを考えましょう。この基本の3パートを鳴らすことで、かなり曲らしさが増します。

また、楽器の追加にあわせて、メロディをより魅力的なものにするためのテクニックも紹介します。慣れてきたら、右のコラムも併せて参照してください。



ドラム部の基礎

ドラム音の中でも重要な、

- ・ズン♪ → バスドラム
- ・タツ♪ → スネア
- ・ジャー♪ → シンバル

この3つを使います。シンバルは曲の強調したい部分で、バスドラムとスネアは右の図を参考に、それぞれのリズムを打ち込みましょう。



ベース部の基礎

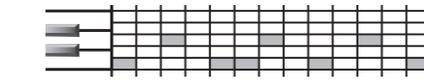
ベース部は、その曲の一番低い音を鳴らしているパートであり、低く唸るような音によって、曲に深みを与えます。

大概是「ベース（Bass）系」の楽器が置かれ、メロディ部から2〜3オクターブくらい下の音程を中心に、一定のリズムで音を鳴らします。少し難しいですが、ベースのリズムに関しては、「ドラム部の動きを真似る」というテクニックがあ

ります。下の図の採譜例を参考にしてください。



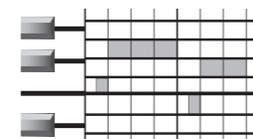
↓ ベース部に置き換え



♪ より良い音を出すためのテクニック

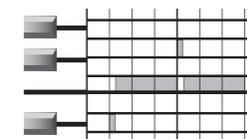
ここまで来ると、パソコンが鳴らす楽器の音色が何か物足りなく感じるようになるかもしれません。それは、機械が出す楽器音が、人間が演奏するものとは違って抑揚や揺らぎがなく、単調な音だからです。そこで、音の打ち込み方を工夫して、音色に変化を与えてみましょう。

手法その1



音を鳴らす直前に低く短い音を鳴らすことで、トゥーという音が鳴らせます（疑似タンギング）。

手法その2



ギターの伸ばす途切れ目に、短く跳んだ音を挟むと、ギターのギャングしたノイズ音が作れます。

コラム3 音程について

大抵の曲は、1オクターブ間の12音のうち、7音の決まった「音階」に従って音符を置いています。

「ドレミファソラシド」が最も有名な音階で、ハ長調といいます。一方、ハ短調は「ドレミ♭ファソラシ♭ド」という音階です。

ドから始まるこれら2つの音階が、曲の音程の基本となります。

コラム4 ドラムについて

ドラム部は曲のリズムを支える部分なので、ドラム部から曲作りを始める作曲方法もあります。

また、そのリズムを刻むのによく使われる打楽器では、前述の3つの打楽器のほかに、ハイハットがあります。一度鳴らしてみたら、「チツチツ」と鳴る音にピンとくるはずです。

コラム5 ベースについて

ベース部は音程が非常に決めづらい部分でもあります。これに関しては、上で触れた「音階」の知識を持っていると便利です。

例えば、上で紹介したハ長調とハ短調の曲なら「ドの音で始まりドの音で終わると、曲が安定する」といった知識が、曲全体の音程を決める重要な指針になります。

はみだし
すてーじ

大至急

⇒……というハンコが押してありました。何事？

はみだし
すてーじ

総長！ 友達が、京阪のこと地下鉄って呼びます！
総長！ 友達が、阪急のこと地下鉄って呼びます！
⇒京阪、阪急、京阪、阪急で交互に乗れ！

(工・1 名無しさん)
(ところなぜ総長？；編)